

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会千船病院産婦人科に、妊娠糖尿病で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会千船病院産婦人科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

妊娠糖尿病褥婦の外来管理と転帰に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会千船病院産婦人科 主任部長 安田 立子

3. 研究の目的

本邦の妊娠糖尿病既往女性に産後5年で20%、産後10年で30%の糖尿病への進展があったとの報告があり、危険因子としては、糖負荷後の高血糖、妊娠糖尿病診断時のHbA1c高値などが挙げられている。しかし、妊娠糖尿病既往女性の産後フォローアップは十分に行われていないのが現状である。今回、当院における妊娠糖尿病褥婦の糖尿病内科再診の現況と転帰を検討し、現状を明らかにする。

4. 研究実施予定期間 2020年9月1日 から 2020年11月21日

5. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

妊娠糖尿病の患者さんで、2017年7月1日から2019年6月30日までの期間中に、妊娠糖尿病の治療（検査）を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、外来管理の転帰（終診、転院、自己中断）、妊娠中の治療としてInsulin注射(≧20U/日)の有無、分娩時年齢、妊娠前肥満、妊娠糖尿病診断時の75gOGTT60分値、妊娠糖尿病診断時の75gOGTT120分値、妊娠糖尿病診断時HbA1cに関する情報です。

(3) 方法

情報を用いて、リスク分類を行い、糖尿病発症率を検討します。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 問い合わせ先

〒555-0034 大阪市西淀川区福町3丁目2-39

社会医療法人愛仁会千船病院 産婦人科 担当医師 安田 立子

TEL : 06-6471-9541 FAX : 06-6474-0069